

教育目標 竹のようにしなやかに、すくすくと



「生きる力」を育む **知** 確かな学力の育成 **徳** 豊かな心の育成 **体** 健やかな体の育成

## 徳 豊かな心の育成

義務教育学校のメリットを生かす③

### ★学年縦割り活動の充実

- 全学年が一緒に活動する機会を充実させることで、思いやりの心やあこがれ・目標を持つことができるようにします。
- 全学年で運動会や学習発表会(文化祭)などの行事に取り組むことで、一つの学校としての意識の高揚と一体感を育みます。



合同運動会の様子

学年の枠を越えて互いの絆を深めます!

### 心の教育の充実

- 児童生徒や家庭・地域の実態を踏まえて「特別の教科 道徳」の授業を行い、友達と話し合う活動等を通して、内面に根ざした道徳的判断力を育成します。また、ふるさとの教材を積極的に授業で取り扱います。
- 「あたりまえをありがたいと思う日」を通して、ふるさとへの思いと感謝の気持ちを育みます。



道徳教材「命のおにぎり」

強い心と思いやりの気持ちを育みます

### 組織的・体系的な生徒指導

- 全職員で組織的に「いじめ」「不登校」の未然防止と早期発見・対応に努めます。また、スクールカウンセラー等関係機関との連携を密接に図ります。
- 9年間を通した一体的な生徒指導の充実を図り、温かな集団の中でどの子どもも集団の一員として安心して学校生活を送れるようにします。
- 家庭と連携し、適正なメディアコントロールを進めていきます。



生徒指導の充実を図ります!

### 芸術・文化教育の推進

- 芸術教育・花育・木育等の活動を通して表現・鑑賞能力の伸張と豊かな感性の育成に努めます。
- 外部講師を積極的に招聘し、ふるさと飯館村の文化や伝統を尊重する態度を育成します。

豊かな感性を育みます!



いせひでこ先生(右端)による絵画教室

# 校章デザイン決定! 教育内容の概要も 連載でお伝えします



12月5日、第4回義務教育学校開校準備委員会が開催され、新しい学校の校章デザインが決定されました。

準備委員会では、草野・飯樋・白石小学校及び飯館中学校の閉校式と新しい学校の開校式などについても協議を進めています。



新しい学校の

新しい校章

### 校章にこめた意味と思い

- 村に一つの義務教育学校であることから、「村の形」を背景にした。
- 緑色は、「命」や「新緑」の色。  
春の新緑が美しい飯館村における「冬の厳しさからの開校」も意味する。
- 新しい学び舎(「学」の字)を中心に配置した。  
「学」の字源には、両手で抱える意を含む。子どもたちを先生の両手が抱き上げるイメージ。  
また、両手(真手)は村の「までい」にもつながる。
- 「学」の両側に、「子どもたちや村民、先生が寄り添う姿」を表現。
- 「i」は、人の頭と体を表わすとともに、「iitate」の頭文字。
- さらに、人と人(前期課程=小学生、後期課程=中学生)のつながりを感じさせる、また交わらせるなどをイメージ。
- 上部の「●●●●●」は統合される小中学校4校及び「希望の星」を表現。  
また、色の変化は、それぞれの旧小中学校や子どもの成長を表わす意味のグラデーション。
- 全体のデザインを通して、飯館村の小中学校4校が新しい学び舎で、人と人(子どもたち、先生、村民、村民以外の方々)が寄り添いながら、村の希望の星である子どもたちを育むイメージを表現。